



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231  
 企業不動産企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,642	△22.1	32	△81.2	39	△78.0	△24	—
25年3月期第1四半期	7,246	—	172	—	180	—	80	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △0百万円(—%) 25年3月期第1四半期 47百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△2.17	—
25年3月期第1四半期	7.07	—

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、平成25年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	23,926	9,975	40.5
25年3月期	25,264	10,072	38.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,700百万円 25年3月期 9,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,450	△22.4	60	△84.4	70	△82.1	32	△83.4	2.82
通期	27,000	△6.5	1,230	△3.4	1,300	△3.5	686	△11.2	60.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	12,400,000株	25年3月期	12,400,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,053,586株	25年3月期	1,053,586株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	11,346,414株	25年3月期1Q	11,346,417株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
4. 参考情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などから景気回復へ向かうことが期待される状況となりました。一方で海外景気の動向により、国内景気を下押しするリスクが存在しており、注意を要する状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るよう努めました結果、売上高は56億42百万円となり、前年同四半期と比べ16億3百万円(△22.1%)の減収となりました。

営業利益は32百万円となり、前年同四半期と比べ1億39百万円(△81.2%)の減益となりました。

経常利益は、営業外収支で7百万円収益が上回ったため39百万円となりましたが、前年同四半期と比べ1億40百万円(△78.0%)の減益となりました。

四半期純損益は、特別損失に土地等の減損損失64百万円を計上したため、四半期純損失24百万円となり、前年同四半期と比べ1億4百万円の減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

資源・金属素材関連では、取引先のマインドは上向きつつあるも、国内外の取引先とも慎重な状況が続いたことから、関連部門の売上高は20億95百万円となり、前年同四半期と比べ12億32百万円(△37.0%)の減収となりました。営業利益は42百万円となり、前年同四半期と比べ76百万円(△64.1%)の減益となりました。

産機・建機関連では、国内設備投資が不透明な状況ながら、民間企業向け各種ポンプ類の販売および建機商品とも堅調であったため、関連部門の売上高は13億7百万円となり、前年同四半期と比べ42百万円(3.4%)の増収となりました。営業利益は1億54百万円となり、前年同四半期と比べ5百万円(3.9%)の増益となりました。

環境設備関連では、大口売上がなかったため、関連部門の売上高は1億80百万円となり、前年同四半期と比べ37百万円(△17.2%)の減収となりました。営業利益は9百万円となり、前年同四半期と比べ18百万円(△66.3%)の減益となりました。

化成品関連では、市況低迷と取引効率の見直しを進めている状況から、関連部門の売上高は20億20百万円となり、前年同四半期と比べ3億82百万円(△15.9%)の減収となりました。営業利益は25百万円となり、前年同四半期と比べ14百万円(△36.3%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、空室状況の改善を図るなど効率化を進めたため、関連部門の売上高は38百万円となり、前年同四半期と比べ7百万円(22.2%)の増収となりました。営業利益は16百万円となり、前年同四半期と比べ11百万円(262.9%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は239億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億37百万円の減少となりました。

## (資産)

流動資産は152億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億64百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金で11億33百万円の減少等によるものです。

固定資産は87億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少しました。

これは主に、土地等の減損損失による64百万円の減少等によるものです。

## (負債)

流動負債は98億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億89百万円減少しました。

これは主に、短期借入金で4億90百万円、未払法人税等で3億88百万円、支払手形及び買掛金で2億19百万円の減少等によるものです。

固定負債は41億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少しました。

これは主に、社債及び長期借入金で1億38百万円(純額)の減少等によるものです。

## (純資産)

純資産は99億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円減少しました。

これは主に、期末配当金による利益剰余金1億10百万円の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、各種政策の効果などが、大企業を中心とした収益改善傾向につながり、景気回復へ向かうことが期待される状況となるなかで、当社の資源・金属素材関連で扱う各種商品は国際的市場の変動により業績に影響を及ぼす可能性があります。また、産機・建機関連及び化成品関連で取扱う商品は、国内製造業を主体としたものであり、国内外の経済動向、設備投資動向の変化により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,122	2,420
受取手形及び売掛金	8,884	7,751
商品及び製品	4,997	4,342
原材料及び貯蔵品	25	23
繰延税金資産	177	183
その他	262	484
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	16,466	15,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,221	3,194
減価償却累計額	△1,696	△1,714
建物及び構築物（純額）	1,524	1,479
機械装置及び運搬具	347	343
減価償却累計額	△310	△308
機械装置及び運搬具（純額）	37	34
土地	4,730	4,699
その他	1,721	1,724
減価償却累計額	△1,675	△1,681
その他（純額）	45	42
有形固定資産合計	6,338	6,257
無形固定資産		
のれん	102	96
その他	107	114
無形固定資産合計	210	210
投資その他の資産		
投資有価証券	1,479	1,461
繰延税金資産	110	112
その他	674	702
貸倒引当金	△16	△18
投資その他の資産合計	2,248	2,257
固定資産合計	8,797	8,725
資産合計	25,264	23,926

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,856	4,637
短期借入金	3,740	3,250
1年内返済予定の長期借入金	357	357
1年内償還予定の社債	1,040	1,040
未払法人税等	403	14
賞与引当金	205	106
その他	299	405
流動負債合計	10,901	9,811
固定負債		
社債	2,034	1,984
長期借入金	1,221	1,132
繰延税金負債	429	432
退職給付引当金	437	423
その他	167	167
固定負債合計	4,290	4,139
負債合計	15,191	13,951
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,623	1,623
利益剰余金	6,590	6,480
自己株式	△315	△315
株主資本合計	9,752	9,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	62
繰延ヘッジ損益	△23	△4
その他の包括利益累計額合計	48	57
少数株主持分	271	274
純資産合計	10,072	9,975
負債純資産合計	25,264	23,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,246	5,642
売上原価	6,274	4,797
売上総利益	971	845
販売費及び一般管理費	799	812
営業利益	172	32
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	11	18
受取家賃	9	9
その他	10	4
営業外収益合計	33	34
営業外費用		
支払利息	12	9
社債利息	3	7
持分法による投資損失	0	6
保険解約損	5	—
その他	1	3
営業外費用合計	24	26
経常利益	180	39
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2
減損損失	—	64
投資有価証券評価損	41	—
その他	0	0
特別損失合計	41	67
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	148	△27
法人税等	63	△6
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	85	△20
少数株主利益	4	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80	△24



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	85	△20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	1
繰延ヘッジ損益	△5	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	△37	20
四半期包括利益	47	△0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44	△5
少数株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,327	1,264	218	2,403	31	7,245	0	7,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,327	1,264	218	2,403	31	7,245	0	7,246
セグメント利益	118	149	27	39	4	339	0	339

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	339
その他の区分の利益	0
全社費用(注)	△167
四半期連結損益計算書の営業利益	172

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、既存3事業（資源・金属素材関連）（産機・建機関連）（環境設備関連）の更なる拡大及び深化とともに新たな収益基盤の確立を図るため、イズミ株式会社を前連結会計年度末日をみなし取得日として連結子会社としましたので、（化成品関連事業）を報告セグメントに追加いたしました。

また、イズミ株式会社は不動産賃貸収入を有しており、加えて平成23年10月に竣工した当社本社ビルの一部を賃貸していることから、（不動産賃貸関連事業）を報告セグメントに追加いたしました。したがって、新報告セグメントは、（資源・金属素材関連）（産機・建機関連）（環境設備関連）（化成品関連）（不動産賃貸関連）に変更しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連	合計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,095	1,307	180	2,020	38	5,642	5,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,095	1,307	180	2,020	38	5,642	5,642
セグメント利益	42	154	9	25	16	248	248

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	248
全社費用(注)	△215
四半期連結損益計算書の営業利益	32

（注）全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「産機・建機関連」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては64百万円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. 参考情報

個別業績の概要

（百万円未満切捨て）

平成26年3月期第1四半期の個別業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

（1）個別経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,597	△25.4	△4	—	22	△84.7	△20	—
25年3月期第1四半期	4,823	18.8	127	△46.3	148	△41.5	72	△30.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	△1	.76	—	—
25年3月期第1四半期	6	.34	—	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	18,789	9,228	9,228	9,228	49.1	809.58
25年3月期	20,328	9,317	9,317	9,317	45.8	817.42

（参考）自己資本 26年3月期第1四半期 9,228百万円 25年3月期 9,317百万円